

## 第7回予算決算特別委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和6年9月25日（水曜）		午前11時40分	開会		
	休 憩					
			午後12時09分	閉会		
会議場所	3階委員会室					
出席議員 氏 名	委員長	早苗 豊	委 員	立川 美穂	委 員	木村 淳彦
	副委員長	西尾 一則	委 員	渡辺洋一郎	委 員	伊藤 稔
	委 員	鈴木 健充	委 員	堀切 忠	委 員	菊池 秀明
	委 員	常通 直人	委 員	橋本 和仁		
	委 員	正村紀美子	委 員	中田智恵子		
	委 員	中村 和宏	委 員	小笠原 等	議 長	梶澤 幸治
欠席議員 氏 名						
説明等に 出席した 者の氏名						
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川 恭史	総務係主査	上田瑞紀
『会議に付した事件と会議結果など』						
1 開 会						
委員長が開会を告げ、事務局が日程を説明し協議する。						
2 議 件						
(1) 協議事項						
ア 令和5年度決算審査の振り返りについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料1・2・3</span>						
3 その他						
2 議 件						
(1) 協議事項						
ア 令和5年度決算審査の振り返りについて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料1・2・3</span>						
・委員長：9月9日を初日とした4日間の日程（第6回予算決算特別委員会）で、令和5年度決算審査を実施したところだが、正副委員長の立場で、議事整理を通じ特に気になったことがあったことから、本日はそのことについて協議し共通認識を図りたい。						
協議したい事項は、「質疑の基本的なルール（特別委員会審査・調査要領）」をはじめ「決算審査の趣旨」について、各委員の認識と理解が一致していないことを感じたことから、現行の「調査要領」と「決算審査の趣旨」を確認し、それを踏まえて、「今後委員会として整理すべきこと（要領改正等）」と「各委員が認識すること（基礎知識の理解）」の共通認識を図りたい。						
本日の協議だけで「振り返り」を完結するものではなく、この後の意見交換を通						

じて、「決算審査のあり方」の共通認識を図り、場合によっては「審査要領」の改正も検討するなど、継続性をもって取り組んでいきたいと考えているので最初に趣旨を御理解いただきたい。趣旨について異議ないか？

- ・(異議なし)
- ・委員長：事務局から資料の説明を求める。
  
- ・事務局長：参考資料1～3説明。
  
- ・委員長：協議の手順について、改めて説明する。ただいま事務局から説明のあった参考資料ごとに解釈の確認等を含めて意見・質疑を受け、共通認識を図ることとしたい。最初に「参考資料1：予算決算特別委員会の審査・調査要領」について、意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：「参考資料1」の確認と協議を終了する。
  
- ・委員長：次に「参考資料2：決算認定の基礎知識」について、意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：「参考資料2」の確認と協議を終了する。
  
- ・委員長：次に「参考資料3：決算認定の概要」について、意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：「参考資料3」の確認と協議を終了する。
  
- ・委員長：最後に全体を通して、意見・質疑はないか？
- ・立川委員：今回の「決算審査の振り返り」は、特別委員会の機能強化として有効な場面と考える。議会基本条例(第2条第3項)に規定されている「議事機関としての予算決算審査の責任」を果たす機会と評価するものである。
- ・正村委員：特別委員会の審査・調査要領において「事務事業ごとの質疑で3回」という解釈は、本日、共通認識を図り決定とし、今後の予算決算特別委員会の議事に適用する事項か？
- ・委員長：委員の共通認識として理解いただけるのなら、今後のルールとしてスタートさせたい。なお、特例として、単一の事務事業以外に広範囲に及ぶ質疑もあろうかと思うが、そのあたりの対応について意見はないか？
- ・常通委員：原則論は「事務事業ごとの質疑で3回」ということで良いのではないか？
- ・正村委員：今回の委員長の議事進行において、質疑項目が集中できるよう「関連した質疑」を求めた手法は、とても有効だったと考える。質疑箇所が行ったり来たりすることなく、同一事項への質疑が深掘りできることは、効果的と考える。
- ・木村委員：委員長の計らいで「4回」を認めていただくケースもあるが、質疑の意図が執行者側に伝わらないことも原因のひとつであるので、執行機関との共有も

必要と考える。また、成果の説明の数字が資料に公表されていないことから「確認」の意味で質疑をすることもある。これは、委員個々が事前調査すべき事項と考えるべきか？

- ・委員長：委員個々の事前勉強も基本と捉えていただければと思う。
- ・立川委員：町から事務事業マネジメントシートの提供があると、決算資料のみならず議員の基礎知識となる。議員に対して資料提供していただくよう、検討の余地があると思う。
- ・委員長：委員会としての資料要求は慎重に対応しなければならないため、公開されている情報を委員が自主的に取得することを、まずは優先していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、協議事項「ア：令和5年度決算の振り返りについて」を終了する。なお、今後、各自で決算審査に関する意見や確認事項があれば、都度、正副委員長か事務局に情報提供いただき、適宜、対応を検討していきたい。

・委員長：「3：その他」で各委員からないか？

・（なし）

・委員長：議長からないか？

・（なし）

・委員長：事務局からないか？

・（なし）

・委員長：以上で委員会を終了する。

### 3 その他

・委員長：「その他」で各委員からないか？

・（なし）

・委員長：議長からないか？

・（なし）

・委員長：事務局からないか？

・（なし）

・委員長：以上で委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和6年9月25日

予算決算特別委員会委員長 早苗 豊

